

秋田自動車道 横手北～大曲間土質調査

特 記 仕 様 書

令和8年1月

東日本高速道路株式会社 東北支社

横手工事事務所

第1章 総則

1-1	調査等務概要	1
1-2	適用する共通仕様書	1
1-3	テクリスへの登録	1
1-4	履行期間	2
1-5	資料の貸与	2
1-6	受注者相互の協力	2
1-7	発注者または監督員が行う協議	3
1-8	計画工程表	3
1-9	調査等打合簿の作成及び提出について	4
1-10	関連施設その他との関係	4
1-11	関連工事に関する事項	4
1-12	保安に関する事項	5
1-13	光通信ケーブル等損傷事故防止対策	6
1-14	環境保全に関する事項	6
1-15	成果品	6
1-16	三者協議会について	7
1-17	ウィークリースタンスの取組み	7

第2章 業務細部に関する事項

2-1	業務の概要	8
2-2	調査ボーリング	8
2-3	機械等運搬	8
2-4	現場内小運搬	9
2-5	搬入路伐採等	9
2-6	準備及び跡片付け	9
2-7	実施調査計画	9
2-8	調査総合解析	9
2-9	断面図	9
2-10	沈下及び安定解析	9
2-11	調査ボーリング解析	10
2-12	打合せ	10
2-13	交通費・宿泊費	10
2-14	報告書作成	10
2-15	国土地盤情報データベース検定	10

第3章 補足事項

3-1	遠隔立会	11
3-2	設計図書の変更及び追加が予想される内容	11

第1章 総則

1-1 調査等概要

- 1-1-1 調査等名 秋田自動車道 横手北～大曲間土質調査
1-1-2 道路名 秋田自動車道
1-1-3 履行箇所 自) 秋田県横手市塚堀字手取清水 (STA. 87+80)
至) 秋田県横手市大森町板井田字三ツ屋 (STA. 194+40)

1-1-4 主な履行内容

名 称	数 量	摘 要
土質地質調査		
調査ボーリング	34.5 m	φ86 mm ノン・コアリング
調査ボーリング	65.0 m	φ86 mm オール・コアリング
標準貫入試験	39回	
サンプリング	33本	固定ピストン式シンウォールサンプラー
土質試験	284シリーズ	
技術業務		
実施調査計画A	2.80 km	
調査総合解析A	2.80 km	
地層地質横断図	7断面	
調査ボーリング解析	99.5 m	
沈下解析	4断面	
安定解析	4断面	
対策工法の検討	4対策箇所	

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和7年7月版とする。

1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへの登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム(以下「テクリス」という。)に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日(以下「休日等」という。)及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- (1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内
- (2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内
- (3) 完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員

の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書 1-13「着手日等」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（本特記仕様書様式-1）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 80 日間（まで）

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 390 日間（まで）

※全体履行期間は余裕期間を含む日数

1-5 資料の貸与

共通仕様書 1-15-1 及び 3-2-2「資料の貸与」に基づく貸与資料は下表のとおりとする。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
完成図（I 期線）	各種の完成図	契約締結の 翌日より 7 日以内	紙または 電子データ
土質地質調査報告書（I 期線）	第一次・第二次土質調査、軟弱地盤調査・解析、工事チェックボーリング、動態観測、道路詳細設計などの各種報告書		
付加車線検討業務報告書	平成30年度 東北支社管内北 道路構造検討業務		
	令和2年度 横手管理事務所管内東 地質リスク検討業務		

※上記の日数は土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、12月29日から翌年1月3日までの期間及び夏期休暇（3日）を除く。

1-6 受注者相互の協力

共通仕様書 1-20「受注者相互の協力」に示す、「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知する。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関	備考
秋田自動車道 横手～大曲間路線測量	R7 年 7 月 4 日～ R9 年 3 月 25 日	(株)エイテック	東日本高速道路(株)	隣接施行

1-7 発注者または監督員が行う協議

発注者または監督員が行う協議で本業務に関連する主な施設及び管理者、必要な協議の有無並びに協議の完了予定時期は下表のとおりとする。

なお、本項目に記載する協議は、受注者が共通仕様書 1-16 「関係官公署及び関係会社への手続き」に従って行う協議以外である。また、本業務の検討内容に応じて必要な協議の有無並びに完了予定時期を変更する場合がある。

(1) 道路関係

位置	路線名	管理者名	必要な協議	協議完了 予定時期
STA. 98+00付近	市道 下根田谷地釜蓋線	横手市	資機材搬入出時の 道路の一時使用に 関する協議	令和8年4月
STA. 104+00付近	市道 下根田谷地釜蓋線	横手市		
STA. 116+00付近	市道 佐加里下根田谷地線	横手市		
STA. 120+60付近	市道 佐加里南北線	横手市		
STA. 144+00付近	市道 落合西3号線	横手市		
STA. 148+60付近	市道 落合西3号線	横手市		
STA. 161+60付近	市道 高速道路側道角間川3号線	大仙市		

区間	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期
秋田自動車道 横手北スマートIC～大曲IC間	東日本高速道路(株) 東北支社 秋田管 理事務所	秋田自動車道敷地内 への立ち入り	令和8年4月

(2) 河川、水路関係

位置	水路名	管理者名	必要な協議	協議完了予定時期
STA. 98+00付近	排水路	秋田県雄物川筋 土地改良区	ボーリング作 業時の取水に 関する協議	令和8年4月
STA. 104+00付近	排水路			
STA. 116+00付近	排水路			
STA. 120+60付近	排水路			
STA. 144+00付近	排水路			
STA. 148+60付近	排水路			
STA. 161+60付近	排水路	大仙市大曲土地改良区		

1-8 計画工程表

1-8-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-14-1 「作業計画書の提出」(2)に示す作業計画書中の計画工程表(本特記仕様書様式-2)の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者として協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-5 「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、本特記仕様書 1-7 「発注者または監督員が行う協議」に示す協議完了予定時期、及び共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工

程表に記載するものとする。

種 別	項 目	備 考
土質地質調査	調査ボーリング	
	サンプリング	
	土質試験	
	実施調査計画 A	
	調査総合解析 A	
	地層地質横断図	
	調査ボーリング解析	
	沈下解析	
	安定解析	
	対策工法の検討	
	報告書作成	
	打合せ	

1-8-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は、共通仕様書 1-2-2「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告するとともに、共通仕様書様式第 1-4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-1-4-3「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

1-9 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-2-2「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員へ提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等除く）に受注者へ返送するものとする。

1-10 関連施設その他との関係

共通仕様書 1-1-6「関係官公署及び関係会社への手続き」に示す本業務に関連する主な施設及び管理者は、下表のとおりとする。

(1) 電力、通信施設関係

位 置	路線・施設名	管理者名	摘要
秋田自動車道 横手北スマート I C～大森 P A KP 57.41 付近～KP 68.07 付近	光通信ケーブル メタルケーブル 電源ケーブル	東日本高速道路(株) 及び K D D I (株)	埋設・添架

(2) その他

受注者は、上記以外の本業務に関する施設等を発見したときは、監督員に通知し、監督員の指示に従わなければならない。

1-11 関連工事に関する事項

- (1) 発注者は受注者の調査等の実施及び発注者の発注に係る第三者の施工する他の工事が施工上密接に関連する場合において、必要があるときは、その調査等実施につき、調整を行うものとする。この場合においては、受注者は、発注者の調整に従い、当該第三者の行う工事の円滑な施工に協力しなければならない。
- (2) 発注者は受注者の調査等の実施及び設計図書に示した他の機関の発注に係る他の工事が施工上密接に関連する場合において、必要があるときは、その施工につき、当該他の機関と調整を行うものとする。この場合においては、受注者は、発注者の調整に従い、工事の円滑な施工に協力しなければならない。
- (3) 前項に規定する当社または他の機関の発注に係る第三者が施工する他の工事は次表のとおりとする。

工事名	主な関連事項	予定工期	施行主体	受注者等名
保全工事等の実施に関する 年度協定 道路保全工事業務	道路保全工事	通年	当社 (※)	(株)ネスコ・メン テナス東北
保全点検業務等の実施に 関する年度協定 施設保全工事・管理業務	施設保全工事	通年	当社 (※)	(株)ネスコ・エンジ ニアリング東北
保全点検業務等の実施に 関する年度協定 通信施設保全管理業務	通信施設 保全管理	通年	当社 (※)	(株)ネスコ東日 本エンジニアリン グ

※ 東北支社秋田管理事務所が管理・監督する業務

なお、上記に示す工事は現時点での予定であり、追加及び変更が生じる場合は別途監督員から指示するものとする。

1-12 保安に関する事項

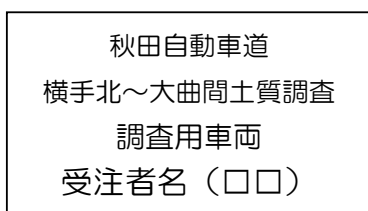
1-12-1 調査用車両の運行速度

一般道の人家連担区域等や高速道路上における運行速度は、法定速度若しくは規制速度を厳守するとともに、過積載の防止等法令を遵守するものとする。

1-12-2 調査用車両の区別

受注者は調査に使用する車両と一般車両の区別をするため、以下に示す調査用車両の標示と同等以上の標示板を設置するものとする。なお、標示内容の変更を監督員が指示した場合、受注者はその指示に従わなければならないものとする。

調査用車両標示板 参考図



材質：耐水合板、強化プラスチック、
布製又はラミネート加工した印刷物等

色彩：黄色地に黒文字

寸法：前部標示板

乗用車等：A4サイズ

トラック、ダンプ等：A4サイズ

後部標示板

トラック、ダンプ等：30cm×90cm

その他の全車両：A4サイズ

字体：丸ゴシック体（受注者名の文字の大きさは、

他の文字より大きめにする)

□□：受注者車両の通し番号

1-12-3 調査標示板等の設置

共通仕様書1-37-1「安全対策」に規定する安全対策を実施するにあたっては、必要とする箇所及び期間において、調査標示板等を設置するものとする。

なお、標示内容の詳細は別途監督員から指示する。

1-12-4 保安に関する費用

本特記仕様書1-12-2「調査用車両の区別」、1-12-3「調査標示板等の設置」に要する費用については諸経費に含むものとし、別途支払は行わないものとする。

1-13 光通信ケーブル等損傷事故防止対策

受注者は、秋田自動車道に埋設されている光通信ケーブル等管路の損傷事故を防止するために埋設物近接箇所での調査にあたっては、東日本高速道路(株)、KDDI(株)「光通信ケーブル等損傷事故防止マニュアル(令和3年7月)」(以下「マニュアル」という。)に基づき万全の措置を講じなければならない。

1-14 環境保全に関する事項

1-14-1 砂塵等の防止

受注者は、調査用機械及び車両の走行による砂塵等の被害を第三者に及ぼさないよう善良な管理を行うものとする。

1-14-2 調査箇所周辺の環境保全

受注者は、ボーリング削孔中の削孔水及びボーリング機械の油により、削孔位置の敷地および削孔位置に近接する市道並びに土地改良区が管理する排水路を汚損しないよう対策を講じるものとする。

1-14-3 騒音等に関する配慮

受注者は、調査用機械及び車両の走行による騒音の被害を近隣の地域住民に及ぼさないよう十分な配慮を講じて作業を行うものとする。

1-14-4 環境保全に関する費用

本特記仕様書1-14-1「砂塵等の防止」、1-14-2「調査箇所周辺の環境保全」、1-14-3「騒音等に関する配慮」に要する費用については諸経費に含むものとし、別途支払は行わないものとする。

1-15 成果品

共通仕様書1-46-1「成果品」によらず下記のとおりとする。

- (1) 受注者は、業務完了届提出の概ね30日前までに、成果品をとりまとめた上で調査等打合簿にて監督員へ報告するものとする。
- (2) 成果品は、設計図書及び監督員の指示に従って作成し、提出しなければならない。
- (3) 報告書等の成果品の作成にあたっては、各章各節によるほか、将来の安全や維持管理の観

点から、道路の計画・設計・施工・維持管理など（当該調査等以降に実施される業務）に配慮すべき事項について整理し、とりまとめるものとする。なお、これに要する費用については、関連項目に含むものとする。

1－16 三者協議会について

本業務の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事の受注者が協同して、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途発注者及び受注者並びに予定工事の受注者とで協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

1－17 ウィークリースタンスの取組み

ウィークリースタンスの取組みとは、受発注者間における仕事の進め方として、一週間における受発注者間相互のルールや約束事、スタンスを目標として定め、計画的に業務を履行することにより、業務環境等を改善し、より一層魅力ある仕事、職場の創造に努めることを目的とした取組みであり、本業務において積極的に取組むこととする。

取組内容は、契約締結後の打合せにおいて監督員と受注者との協議の上実施する取組み事項を定め、調査等打合簿を作成し相互に確認するものとする。

あらかじめ定めた取組み事項を実施できない事象が生じた場合の取扱いについては、その都度監督員と受注者と協議の上定めるものとする。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務の概要

本業務は、秋田自動車道横手北スマートIC～大曲IC間の4車線化事業区間における土工構造物の設計に必要な基礎地盤と既存盛土の土質性状、圧密状況の確認及びⅡ期線盛土による基礎地盤の沈下・安定解析、対策工の検討などを実施するものである。

2-2 調査ボーリング

2-2-1 調査ボーリング箇所

調査ボーリングは参考図に示す箇所で行うものとするが、Ⅰ期線時調査結果などにより、調査実施位置を精査し、ボーリング箇所を変更する必要がある場合は、監督員と受注者で協議の上決定するものとする。

2-2-2 調査ボーリング区分

調査ボーリング区分は、下表のとおりとする。

種別・規格		単位	数量	コア種別	せん孔深度	せん孔方向
φ86mm	礫混じり土砂	m	34.5	ノン・コア	50m以下	鉛直下方
	粘性土・シルト	m	58.0	オール・コア	50m以下	鉛直下方
	砂・砂質土	m	7.0	オール・コア	50m以下	鉛直下方

2-2-3 給水等

調査ボーリングにおける掘進に要する削孔水の供給は給水ポンプにより行なうものと、給水に要する費用は調査ボーリングの掘進費に含むものとする。

なお、下表に示す調査ボーリング箇所の周辺に水源がない場合または受注者の責によらない事由により、給水方法を変更する必要がある場合は、監督員と受注者で協議の上決定するものとする。

種別	規格	数量	対象ボーリング番号
給水費（ポンプ運転）	給水ポンプ (20m以上 150m以下)	7箇所	R07-01-01 ～ R07-01-07

2-2-4 調査ボーリングの打ち止め位置

調査ボーリングの打ち止め位置は、監督員と受注者で協議の上決定するものとする。

2-2-5 調査ボーリング孔の閉塞

(1) 調査ボーリング終了後、下表に示す箇所において、ボーリング孔を粘土等で閉塞するものとする。

内訳書の項目	数量	対象ボーリング番号
調査孔閉塞	7箇所	R07-01-01 ～ R07-01-07

(2) 調査孔閉塞の検測数量は、閉塞を行った箇所数（箇所）とする。

2-3 機械等運搬

共通仕様書3-15に示す機械等運搬の数量検測は、1式とする。

2-4 現場内小運搬

共通仕様書 3-17 (1) に示す現場内小運搬の区分は、下表のとおりとする。

なお、受注者の責によらない事由により、現場内小運搬計画を変更する必要がある場合及び既設立入防止柵の撤去等が必要となる場合は、監督員と受注者で協議の上決定するものとする。

内訳書の項目	種 別	数量	対象ボーリング番号
現場内小運搬	人肩運搬 (50m以下)	5 地点	R07-01-01 ~ R07-01-05
	人肩運搬 (50m超~100m以下)	2 地点	R07-01-06 ~ R07-01-07

2-5 搬入路伐採等

共通仕様書 3-18 に示す搬入路伐採等の区分は、下表のとおりとする。

なお、伐採等により生じた発生材の処分に要する費用は諸経費に含まれるものとする。

内訳書の項目	伐採等必要延長	標高差	数量	対象ボーリング番号
搬入路伐採等	32~84m	2~4m	7 地点	R07-01-01 ~ R07-01-07

2-6 準備及び跡片付け

(1) 準備及び跡片付けとは、土質地質調査における資機材の準備・保管、ボーリング地点の整地・位置出し測量、跡片付け等を行うことをいう。

(2) 準備及び跡片付けの検測数量は、1 式とする。

2-7 実施調査計画

実施調査計画 A の調査区分は、共通仕様書 3-4-2 (1) に示す第二次詳細調査とし、調査区間及び延長は、下表のとおりとする。

調査区間	延長	対象ボーリング番号
STA. 87+80 から STA. 194+40 までの履行区間の内、対象ボーリング位置の前後 200m	2.80km	R07-01-01 ~ R07-01-07

2-8 調査総合解析

調査総合解析 A の調査区分は、共通仕様書 3-4-3 (2) に示す第二次詳細調査とし、調査区間及び延長は、下表のとおりとする。

調査区間	延長	対象ボーリング番号
STA. 87+80 から STA. 194+40 までの履行区間の内、対象ボーリング位置の前後 200m	2.80km	R07-01-01 ~ R07-01-07

2-9 断面図

共通仕様書 3-4-5 (1) に示す地層地質横断面図の区分は、下表のとおりとする。

内訳書の項目	数量	対象ボーリング番号
地層地質横断面図	7 断面	R07-01-01 ~ R07-01-07

2-10 沈下及び安定解析

共通仕様書 3-4-6 (1) に示す解析業務の内訳は、下表のとおりとする。

なお、調査ボーリング、土質試験及び調査総合解析などにより、解析及び対策工検討位置を変更する必要がある場合は、監督員と受注者で協議の上決定するものとする。

内訳書の項目	数量	対象箇所
沈下解析	4 断面	STA. 104+00、STA. 116+00 STA. 148+60、STA. 161+60
安定解析	4 断面	
対策工の検討	4 対策箇所	

2-1-1 調査ボーリング解析

共通仕様書 3-5-1 (2) に示す調査ボーリング解析の数量は、特記仕様書 2-2-2 「調査ボーリング区分」の表に示す数量とする。

2-1-2 打合せ

打合せ回数は、業務内容確認検査及び完了検査を含め 6 回とし、打合せの検測数量は 1 式とする。監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いには監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路株式会社横手工事事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

また、Web カメラ及び Web 会議システム等を活用して打合せを実施する場合の取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

2-1-3 交通費・宿泊費

2-1-3-1 土質地質調査 交通費・宿泊費

土質地質調査 交通費・宿泊費には土質調査の現場作業に従事する労務員すべての交通費・宿泊費を含むものとし、現場作業の数量に大幅な変更が生じた場合、交通費・宿泊費の増減に伴う費用については別途監督員と協議するものとする。

また、Web 会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費・宿泊費についての取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

2-1-3-2 技術業務 交通費・宿泊費

技術業務 交通費・宿泊費には技術業務を行うにあたり必要となる交通費・宿泊費をいう。

なお、業務の数量に大幅な変更が生じた場合、交通費・宿泊費の増減に伴う費用については別途監督員と協議するものとする。

また、Web 会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費・宿泊費についての取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

2-1-4 報告書作成

報告書の提出部数は、共通仕様書 3-1-4 「報告書作成」によらず、共通仕様書 1-4-6-5 「標準提出部数」によるものとし、報告書作成の検測数量は、1 式とする。

なお、報告書（紙）の表紙の仕様については、監督員の指示によるものとする。

2-1-5 国土地盤情報データベース検定 有資格

共通仕様書 3-1-9 に示す国土地盤情報データベース検定は、調査ボーリング 1 本当たりの検定費用を 2,000 円（ボーリング責任者が地質調査技士の資格を有する場合に限る。）とする。

なお、調査ボーリングの数量は 7 本とし、ボーリング本数の増減及び資格区分の相違に伴う請

負代金額の変更は、監督員と受注者との協議し定めるものとする。

また、共通仕様書 3-19 に示す、登録するボーリングデータの公開区分を下表に示す。

対象ボーリング番号	公開区分
R07-01-01 ～ R07-01-07	非公開

第 3 章 補足事項

3-1 遠隔立会

遠隔立会とは、遠隔立会実施要領（令和 5 年 10 月 東日本高速道路株式会社）に基づき、共通仕様書 1-23 「立会い及び検査」に定める検査及び立会いについて、デジタル通信技術を活用し、遠隔地からの確認、立会い及び検査の実施により、受注者、発注者相互の業務、作業の効率化による生産性向上を図るものである。

遠隔立会の実施有無、実施項目、費用等については、調査着手前に監督員と協議し定めるものとする。

3-2 設計図書の変更及び追加が予想される内容

下記に示す事項については、関係機関との協議または現地状況等により変更または追加する可能性があるため、受注者は監督員と緊密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとする。また、これに要する費用については、監督員と別途協議するものとする。

- (1) 関係機関との協議の結果に基づく業務内容の変更及び追加
- (2) 現地踏査、調査ボーリング結果などに基づく業務内容の変更及び追加

様式－1

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 東北支社
支社長 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

調査等名 秋田自動車道 横手北～大曲間土質調査

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3－2. 受注者が設定した業務の終期)

秋田自動車道 横手北～大曲間土質調査 設計工程表（案）

【様式-2】

1土質調査業務

項 目	日 程	計画準備	○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			備 考
			10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	
1. 調査計画																																	
2. 既得資料（貸与資料）の確認・整理																																	
3. 調査業務																																	
車道及び路片付け																																	
地形地質調査等																																	
調査ボーリング																																	
標準貫入試験																																	
サンプリング																																	
調査孔閉塞																																	
土質試験																																	
国土基盤情報データベース																																	
4. 技術業務																																	
地下・安定解析、対策工の検討																																	
5. 施工への送り事項																																	
6. 照 査																																	
7. 報告書作成																																	
8. 監督員による成果品確認																																	
9. 電子成果品作成																																	
10. 打合せ																																	
11. 業務検査・完了検査																																	

2 貸与資料

項目	日程	貸与の有無	貸与時期	○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			備考
				10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	
1. 地形地質		有・無																										
・ 写真調査		有・無																										
・ 概略調査		有・無																										
2. ○○地区路線測量		有・無																										
・ 地形図（1：1000）		有・無																										
・ 実測断面図		有・無																										
・ 実測横断面		有・無																										
・ 横断計算書		有・無																										
3. 土質調査報告書		有・無																										
○地区第一次土質		有・無																										
△地区構造物基礎調査		有・無																										

3 関連業務

項目	日程	実施の有無	実施時期	実施会社名	○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			備考
					10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	
1. 地形地質																													
1. ○○自動車道 △△地区付加車線道路経緯		有・無	○年○月～○年○月																										
2. ○○自動車道 ○○地区用地詳細測量		有・無	○年○月～○年○月																										
3. ○○自動車道 ○○地区用地詳細測量		有・無	○年○月～○年○月																										
4. ○○自動車道 ☆☆～○○間水文調査		有・無	○年○月～○年○月																										

4 関係機関協議

項 目	実施の有無	実施時期	対応者	○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			凡 例	
				10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30		
①交差管理者協議																																
道路	有・無	○年○月～○年○月	発注者																													
河川	有・無	○年○月～○年○月	発注者																													
雨水路	有・無	○年○月～○年○月	発注者																													
排水路	有・無	○年○月～○年○月	発注者																													
水道	有・無	○年○月～○年○月	発注者																													
②警察協議	有・無	○年○月～○年○月	発注者																													
③地元協議	有・無	○年○月～○年○月	発注者																													
④その他関係事項協議	有・無	○年○月～○年○月	発注者																													

5 その他関係事項

項 目	実施の有無	実施時期	対応者	〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			〇月			凡 例
				10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30				
TOOIに関する技術的検討	有 ・ 無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																															
ZOOに関する技術的判断	有 ・ 無	〇年〇月 ～ 〇年〇月	発注者																															

6 協議内容、結果等

協議内容経緯等	○月○日		○月○日		○月○日		○月○日		○月○日		○月○日	
	①協議場所、出席者		①協議場所、出席者		①協議場所、出席者		①協議場所、出席者		①協議場所、出席者		①協議場所、出席者	
	②協議結果		②協議結果		②協議結果		②協議結果		②協議結果		②協議結果	

※作成上のポイント（記載内容は作成例であるため、共通仕様書及び特記仕様書の記載を確認の上作成すること）

- ① 関係工程管理（履行期間）確認を促すこととする。
- ② 関連する調査業務や設計業務から関係機関協議による資料入手や条件提示等の遅れが履行期間を圧迫することがないよう、資料入手・条件提示が関係機関の期日と明確化する。
- ③ 協議時間と内容（結果）を工程表に明示することにより、打合せ時間・内容に工程上の遅れがないよう確認する。
- ④ 思慮の時間と内容（結果）を工程表に明示することにより、作業の進捗状況に合致した調査作業が実施されていると確認する。
- ⑤ 本工程表は作業計画書に添付するとともに、発注者と受注者双方で共有し、適切な履行期間を確保することで設計ミスの防止、品質の確保を図る。
- ⑥ なお、本表は「目安のもの」ではない。上記趣旨を理解したうえで、各業務単位で工夫・改良を加えて利用することを基本とする。

※作成時の留意事項

- ① 関係機関協議については該当事項をその都度記入のこと
- ② 協議待ちによる遅延の場合工程上のリアリティを明示すること
- ③ 工程計画に大幅な変更が生じた場合、協議時に発注者に提示し、確認を行うこと。